

2024年6月17日

各位

会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス  
代表者名 代表取締役会長 浅山 雄彦  
(コード: 2927、東証スタンダード)  
問合せ先 取締役会長室長 南方 茂穂  
(TEL. 054-281-5238)

会社名 株式会社日本予防医学研究所  
代表者名 代表取締役会長 浅山 忠彦  
(AFC-HD グループ)

富山大学 和漢医薬学総合研究所との共同研究の研究成果が、  
学術誌 **Chemical and Pharmaceutical Bulletin** に掲載されました

株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス(本社:静岡県静岡市、会長:浅山雄彦)のグループ会社である株式会社日本予防医学研究所(本社:静岡県静岡市、会長:浅山忠彦)は、富山大学 和漢医薬学総合研究所の森田洋行教授らの研究グループとの共同研究において、ベトナム産ツヅラフジ科植物 *Tinospora cordifolia* (チノスポラ コルディフォリア)の茎には、心血管系疾患、抗炎症系疾患、自己免疫疾患などのさまざまな疾患に関与するヒト由来アルギナーゼ I という酵素に対して阻害活性を示す化合物が含まれていることを科学的に示しましたので、お知らせいたします。

なお、この研究成果は日本薬学会学術誌 **Chemical and Pharmaceutical Bulletin** に掲載されました。

本植物は、ベトナムにおいては、マラリア、咽頭炎、リウマチ、糖尿病の治療などに伝統的に用いられています。今回、株式会社日本予防医学研究所は、富山大学 和漢医薬学総合研究所の森田洋行教授らの研究グループとの共同研究により、本植物の茎がアルギナーゼ I に対して阻害活性を示すことを見だし、さらに、本植物の茎には、本酵素に対して中程度の競合的阻害活性を示すチノコルディフォリア A という名の *neo*-クレロダンジテルペノイドが含まれていることを明らかにしました。アルギナーゼ I に阻害活性を示す *neo*-クレロダンジテルペノイドとしては、これが最初の報告になります。この化学構造と活性相関のさらなる検討により、マラリア、咽頭炎、リウマチ、糖尿病などに有効なあらたな医薬品や機能性食品の開発につながることを期待されます。

\*学術誌掲載情報 (<https://doi.org/10.1248/cpb.c24-00240>)

学術誌名: **Chemical and Pharmaceutical Bulletin**. 72, 540-546 (2024) DOI: 10.1248/cpb.c24-00240.

タイトル: Three *neo*-clerodane diterpenoids from *Tinospora cordifolia* stems and their arginase inhibitory activities

著者: Nhat Nam Hoang, Shotaro Hoshino, Takeshi Kodama, Yu Nakashima, Kiep Minh Do, Hoang Xuan Thao, Naotaka Ikumi, Hiroyasu Onaka, Hiroyuki Morita.